

計画の目標：「食」で広がる 健康とふれあいの輪 まるがめ

令和4年度の実施内容  
＜主な取り組み＞より

(1) 自分にあった食生活の実践

※健康増進計画の食生活分野の取り組みとあわせて推進。

- ・食育 SAT システムを活用して、ライフステージに応じた食事指導を実施。  
マイナス1歳から始まる子育て講座（妊婦とその家族）：37人  
食育と歯の健康づくり推進事業（園児・保護者）：165人  
飯山高校文化祭（高校生・保護者）：172人  
筋トレ教室参加者（40歳以上）：40人  
出前講座（小中学生・教職員）：26人

(2) 食文化の継承と地産地消の推進

・食育ネットワークメンバーが郷土料理を次世代に伝える事業。お正月料理実習や地元の桃を使った焼肉タレ作り、学校給食のできる限り丸亀市産の農産物を取り入れるための様々な活動を行った。

(3) 食を取り巻く環境の整備

- ・食育ネットワーク会議を2回開催し、関係機関・団体との連携を図った。
- ・6月の食育月間には、関係機関・団体の活動を紹介する食育パネル展示を市役所1階で実施。
- ・10月3日に「食育講演会」を開催。（開催場所：マルタス）

テーマ：「食」は心を支えるもの ～1年4か月の南極くらしで料理と生き方が変わった～  
講師 第57次南極地域観測隊 渡貫 淳子 氏

【参加者数：146人】



食育講演会

環境に配慮した食育の推進と食は心を支えるもので食を楽しむと心を満たすこと、季節・行事食の大切さを伝えたく食育講演会を開催し、地産地消も食品ロス削減に繋がることも市民に啓発することができた。

＜令和5年度に向けて＞

- ・食育 SAT を活用することで、市民が現在の食習慣を振り返り、よりよくするための食生活の工夫について具体的に知ることができるため、今後の実践につながると考えられる。今後も、自分にあった食生活の実践に向け、食育 SAT を活用し取り組んでいく。
- ・関係機関・団体等が連携して事業を実施することで、お互いの強みを生かした食育の実践につながった。今後も連携した事業の実施機会が増えるよう、食育ネットワーク会議での情報交換等を継続していく。

計画の目標：誰も自殺に追い込まれることのない丸亀市の実現

令和4年度の実施内容  
＜主な取り組み＞より

(1) 自殺予防に対する理解促進

- ・9月：自殺予防週間にあわせて、市役所1階で啓発展示を実施。  
自殺対策基本計画の概要や取り組み、相談場所についての啓発チラシを作成し、市広報と一緒に全戸配布。  
子育て広場や健康相談等で相談先を記載した啓発物を配布。
- ・3月：自殺対策強化月間にあわせて、中央図書館で自殺予防の展示や啓発物の設置を実施。

(2) 自殺予防に取り組む人材育成

- ・市役所新規採用職員や食生活改善推進員、母子保健推進員を対象としたゲートキーパー養成講座を開催。  
【ゲートキーパー養成数：573人（R4.1月末現在）※平成28年度からの累積】

(3) 相談・支援体制の整備

- ・こころの健康相談に来所して継続支援が必要な場合は、相談を担当した先生と健康課の地区担当保健師が連携して対応している。
- ・相談の場に出てこられない対象者には、精神保健福祉士と保健師が訪問して相談対応を行っている。
- ・庁内9課による自殺対策事務調整会議を1回開催し、連携を図った。自殺に関する相談の実際や関係機関へのつなぎ方等、各課の取り組み状況の把握や情報交換をする場となっている。

＜令和5年度に向けて＞

- ・「丸亀市自殺対策基本計画推進のための実行プラン」に基づいた取り組みを実施していけるよう庁内関係課などと連携を強化し推進。自殺予防についての効果的な啓発方法や各課の業務推進の中でも、自殺予防の視点をもち取り組んでもらえるように引き続き検討していく。